

同窓会による教育支援 「就職前社会人支援講座」の開催報告

本学同窓会「松丘会」よりご支援を賜り、令和2年12月1日（火）に、卒業学年の学生140人を対象とした「就職前社会人支援講座」を開催しました。株式会社キャリアプランニングの侍留 慶子さんを講師にお迎えし、「社会人としての心構え」「基本のマナー」「ビジネス電話の基礎」「仕事への取り組み方」についてご指導いただきました。以下に受講後の学生の感想を掲載し、ご支援へのお礼に変えさせていただきたく存じます。

就職前社会人支援講座に参加して、身だしなみや言葉遣い、気持ちの良い挨拶、素直に人の話を聞くことなど、一つひとつの基本マナーを心がけることが社会人としての心構えになることを学びました。講師の先生は、私たちに対しても終始笑顔で、姿勢も良く、好印象を与えるポイントを示してくださいました。この講座を通じて、基本マナーの大切さを改めて実感しました。



「4時からの会議で使うから、この資料を30部コピーしておいて」という、上司からの指示にどう対応するかという事例において、私は講師の方とのやりとりを代表でさせていただきました。敬語がうまく使えなかったことや、「ホッチキス止めはしますか」や「出来上がったらどちらにお持ちしましょうか」など、後で困らないように質問をすることができなかったことが反省点となりました。基本マナーの大切さは知っているつもりでしたが、実際には不十分などところが多くあることに気づきました。将来社会人になったときに困らないよう、講座で学んだ基本マナーを意識して過ごしたいと思います。

（看護科3年 福中 美羽）

これから学生生活を終えて社会に出て行こうとする者として、社会の中で必要不可欠なマナーについて、様々な場面を想定した具体的な課題を通じて、実践的に学ぶことができました。特に印象深かったのは、「個人の評価は組織の評価につながる」というお話でした。正しいマナーを身に付け、自分の行動を振り返り、相手や周囲に配慮を欠かさないことが大切だと感じました。これからは挨拶を忘れず、丁寧な姿勢や言葉遣いに注意し、相手に不快感を与えることがないようにして、自発的に行動できる社会人を目指していきたいと思えます。

（医療介護福祉科2年 心石 光咲）